

令和3年度 結果の分析及び今後の改善策(案)

( 中間・最終 )

天応中学校区 校番 22 学校名 天応小学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(1年間) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
***	資質・能力を育て、確かな学力の向上を図る(探究の過程を通して)	基礎・基本の徹底と豊かな対話の場の構築(学力向上)  主体的に学ぶ土台の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元テスト(学期末を含む)の到達得点平均85%以上の児童の割合(目標値80%) 国語(95, 80, 83, 66, 83, 76, 88)全体%81.6% 算数(100, 80, 62, 71, 63, 45, 88)全体%72.7% 算数科において個人差が大きい学年もある。</li> <li>・1学期及び夏季休業中に、理論研を行うことができた。</li> </ul> <p>児童アンケートにおいて、「授業では『めあて』にそったふり返りをしている」について肯定的な評価をした児童の割合は、97%、「ふり返りを次の学習に生かしている」については96%であった。大きく目標値を上回ることができた。学校全体で意識統一し、ふり返りを大切に授業を行ってきた成果であると考え。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能に課題がある場合は、放課後の補充学習を保障し、継続的に粘り強く指導を続ける。</li> <li>・思考・判断・表現については、毎時間の授業で思考の場を適切に設定し、力を伸ばしていけるようにする。</li> <li>・単元構想シートを使って、随時単元開発を行っていく。</li> <li>・小中共通のふり返りシートをもとにして、1年・前期・中期に応じたふり返りシートを開発、実践していく。その際、単元の目標や評価の観点を示す等、どのような視点でふり返ることが大切かを意識させることで、粘り強い取組を行おうとする力や自らの学習を調整しようとする力を伸ばしていきたい。</li> </ul>
**	自立し、自律につながる生活基盤の確立	状況に応じたセルフコントロール能力の発揮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の命は自分で守る」ようにしたいと思っている児童の肯定的評価の割合が、99%であった。その要因として、授業のみならず、朝会等で繰り返し指導した結果、児童の意識が高まったと思われる。今後は、授業などで学年に応じて、命の大切さについて学ぶ機会を設けることが必要だと考える。</li> <li>・iPadについて、大切に使い、正しく使っている児童の肯定的評価の割合が、98%であった。その要因として、授業中のみならず、朝会等で繰り返し指導した結果、児童の意識が高まったと思われる。今後は、情報モラルの危険性を理解させる機会を設け、指導していく必要がある。</li> <li>・時間を決めてメディアを使っている児童の割合が90%であった。引き続き時間を決めてメディアを使うことができるよう、指導していくことが必要だと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間の計画的な実施により、児童がより自分事として捉えられるような授業の工夫が必要である。</li> <li>・学年に応じて、より具体的に思考できる場面を設定する。</li> <li>・学期始め等、定期的に指導の機会を設けるとともに、学年に応じた情報モラル教育を行う。</li> </ul>
*	誰もが安全で安心して学べる教育環境の確保	心豊かで社会性を身に付けた児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・14人中2人の教職員が児童と向き合う時間が確保されていないと思っている。育児短時間勤務職員と1年担任である。 育児短時間勤務職員については、時間的には難しさがある。1年担任については、下校時刻のこともあるが、本人の思いを聞きながら対応を考えていく必要がある。</li> <li>・調査人数14名の4月から9月までの月ごと84コマのうち、24コマ(のべ24人)で時間外在時間時間が月45時間を超えている。昨年度は臨時休業もあったが、昨年度同時期より増加した。しかし、7, 8, 9月については、2コマ(のべ2人)であり、各自が意識しながら行動できてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的には、児童と向き合う時間の確保ができるように引き続き努めていく。次に、育児短時間勤務職員については、勤務時間が限られているので、他の者が対応していく。また、担任については、時間の使い方について、他の担任の状況を参考にしていけるようにする。</li> <li>・残り6ヶ月で、全員で84コマある。あと時間外在時間時間が月45時間を超えると、今よりも達成度が下がってしまう。まずは、今年度前半を超えないように各自が意識できるようにしていく。</li> </ul>